

第9回宮崎大学役員会（戦略会議）議事要旨

日 時 平成17年11月8日（火） 14:00～15:45

場 所 宮崎大学事務局大会議室（事務局棟4階）

委 員 住吉学長、名和理事、碓理事、江藤理事、大谷理事、吉良理事

オブザーバ 水光副学長、谷本副学長、岩切監事、木下監事

列席者 北村経営統括監、川畑企画調整部長、山根財務部長、梶川施設環境部長、橋口学務部長、金城学術研究協力部長、羽室企画調整課長、西山人事課長、田島財務課長、大園評価課長、外

議 事

1. 平成17年度戦略重点経費の配分について

学長から、資料1により平成17年度の戦略重点経費について教育戦略経費、研究戦略経費、国際連携戦略経費及び大学運営・経営戦略経費として要求のあった内容を精査資、33件のプロジェクトへ配分したい旨説明があり、審議の結果原案どおり承認された。

また、学長から来年度からの戦略重点経費については、大学としてどのような事を重点的に進めるのか、将来構想も視野に入れながら方針を示して募集をしていきたいとの発言があった。

なお、名和理事から、若手向けの戦略経費については、科学研究費に採択されなかった研究で将来性が見込まれるものを精査して選ぶなど、方針を考えていく必要があるとの発言があった。

2. 学内予備費について

学長から、資料2により宮崎県知事から県及び市町村の地域防災計画への協力依頼があり、大学として台風14号における自治体の災害対策に係る実態調査とその分析から得られる教訓の地域災害計画への反映に応えたいとして、学内予備費より150万円を充てたいとの提案があり、審議の結果承認された。

3. 教職員の給与支給水準等の検討について

西山人事課長から、資料3により平成17年度にかかる人事院勧告の取扱いについて種々の観点から調査分析した結果等について報告があった。

審議の結果、平成17年12月1日実施、俸給月額0.3%減、扶養手当500円の減、平成17年12月期の勤勉手当0.025月分（年間+0.05月分の1/2）増、平成17年4月～平成17年11月の較差相当分を平成17年12月期末手当で減額調整しない方針とする事で承認された。

また、学長から、本学としてはこの方針で今後過半数代表者等の意見を聴取したうえで決めていきたいとの説明があった。

4. 平成16事業年度に係る業務実績（報告書）に関する大学として改善を要する点等について

（継続審議）

学長から、この件については前回の役員会でも審議してきたが、時間の都合上、各改善を要する事項について十分な審議が出来なかったため、今回継続審議として再度各事項の改善策等について審議ほしい旨提案があった。

水光副学長から、大学院における学生収容定員の充足率を如何に改善するかを早急に考える必要があるとの発言があり、碓理事から研究委員会で各学部の副学部長に具体的対応策を検討するよう依頼した旨説明があった。

このことについて、学長から、定員を充足させるためにどれだけ努力したか、なぜこうなったのか目に見えるようなきちんとした理由付けがあれば、医学教育課も定員の改正も認めると言っており、特に医歯学系大学院はどういう人間を育てるかという目的をはっきりさせ、大学教育を実質化して教育をきちんとすることを明確にして改組をするということも視野にいらしたほうが説得しやすいとの発言があった。

また、水光副学長から、全学委員会の数を減らす方向で検討して欲しいとの発言があり、機能していないもの、内容の重複しているもの、組織メンバーの減等見直しを進めていくことが確認された。

種々意見交換があったが、学長から、この改善を要する点の問題については、今後も引き続き考えていかなければいけない問題であり、その都度改善点を提案していただき審議していきたいとの発言があり、継続審議となった。

報告事項

1. 平成17年度終了時の法人評価及び平成18年度事業計画作成スケジュール等について

水光副学長から、11月7日に評価室と情報管理室で平成17年度終了時の法人評価及び平成18年度事業計画作成スケジュール並びに各事業計画の実施状況（中間報告）の調査についての説明会を行い、11月25日までに統括体制において本年度の事業計画の実施状況（中間報告）を作成するよう依頼した旨の報告と今後の国立大学法人評価委員会の評価及び平成18年度の事業計画等のスケジュールについての説明があった。

また、川畑評価監査部長から、平成17年度事業計画の実施状況調査書の作成に係る調査体制、調査内容、作業内容及びWeb上での入力方法等について説明があった。

2. 医療訴訟について

江藤理事（病院長）から、「大動脈穿孔による大量出血における血液型不適合輸血」に係る損害賠償請求事件の概要と和解に至った経緯等について報告があった。

3. 医学系出身国立大学長懇談会及び国立大学協会総会の報告

学長から、長崎で開催された11月6日の医学系出身国立大学長懇談会及び11月7日の国立大学協会総会の報告があり、国立大学協会では、文部科学大臣に対し国立大学法人の平成18年度予算充実に係る次のような要望をしている旨説明があった。

1. 国立大学法人の教育研究の基盤となる運営費交付金の確保・充実
2. 経済状況に左右されない教育の機会均等の確保
学生納付金について新たな負担増とならないよう適正な水準を維持すること
3. 安全安心で優れた教育研究活動が実施できる環境整備のための施設整備費補助金の確保
4. 長期借入金規定の緩和

4. その他

・ 礎理事から、来週、農工大学院設置について文部科学省へ説明に行く旨報告があった。

また、認証評価の実施については、教育・学生担当副学長及び評価担当副学長とが大学教育研究企画センターと協力して実施していきたいとの発言があった。

次回の役員会について

次回の12月役員会（戦略会議）は、12月6日（火）14時からの開催を予定している旨報告があった。